

「大学入試英語成績提供システム」参加試験実施団体が作成する試験対策用問題集等について

実施主体名	試験名	試験対策問題集作成の基本的な考え方		問題漏洩などの不正を疑われないような取組み	第三者評価	
		問題集に掲載する問題と実際に出題する問題との関係性	英語力が向上していないのに点数が取れるような対策となっていないか	漏洩対策（例）	評価機関	評価内容
Cambridge Assessment English（ケンブリッジ大学英語検定機構）	ケンブリッジ英語検定	○実際に使われている試験問題が問題集に掲載される可能性は全くない。	○検定は、効果的な英語学習を奨励し支援するよう設計されている。	<p>○著者、編集者、出版社は実際の試験の内容にアクセスできない。</p> <p>○試験日ごとに異なる試験問題を使用するなど試験問題の内容が事前に知りえないように設計されている。</p> <p>○機密試験資材は高度な安全対策が施されたケンブリッジの敷地内で印刷・保管され、ウェアハウス内の発送業者により世界中の認定試験センターに直接送られる。</p> <p>○試験当日、試験問題の入った資材袋の開封は受検者の前で行う。</p> <p>○万が一問題が事前に漏えいした場合は、代替の試験問題冊子を使用するか、試験の結果を無効として新規のテストで再度実施。</p> <p>○試験とサービスを設計・開発・提供するための弊機関のシステムおよびそのプロセスは、ISO9001-2008を満たすものとして国際認証を得ている。</p>		
IDP:IELTS Australia	International English Language Testing System (IELTS)	○IELTSは問題集に掲載する問題は独自のもので、実際の試験で出題されているものではない。	○総合的な英語力が向上しない限り、問題集からの暗記などによる日本の従来の方法ではBand scoreの向上は全く望めない。	<p>○テスト問題の入った袋は、到着してから、保管する際や当日使用する際に全部チェックし、小さな穴が開いていてもインシデントレポートを出す必要がある。試験の前に見つかった場合は、レポートの内容に基づいて問題の差し替えを行うこともある。</p> <p>○テスト日も、常に誰かがテストの問題のそばにすることが義務付けられており、試験後は48時間以内に問題やリスニングテストのCDを、シュレッダー等若しくは指定の業者で全て廃棄する。</p>	Ofqual (Office of Qualification and Examinations Regulation)	<p>○試験の内容、実施体制及びテストの信頼性・妥当性等について厳密な第三者評価が行われている。</p> <p>○試験対策教材、対策講座等についても、受検者にとって「unfair advantage（不公平な優位性）」を生じないように、それを回避するための手続きを有しているかどうかをチェックする。</p> <p>○試験センターのセキュリティは抜き打ち視察を含む定期的な査察官によるチェックを受ける。</p> <p>○違反があれば、試験実施団体の活動停止処分もあり得る。</p>
ブリティッシュ・カウンシル	International English Language Testing System (IELTS)	○教材に実際の試験問題が使用されることはない。	○公式問題集は、IELTS パートナー3団体が認めている模擬試験体験ができる問題集であり、解答の解説は短く添えられているのみで、「テストで良い点を取るためのテクニック」といった指導はしていない。	<p>○問題集においては、個人や試験実施機関と出版社との利益誘導などがないように、必ず承認システムを明確にして出版に合意する必要があるほか、学習者や受検者に対して支援となる教材を作るということを目指すこととすることが規定されている。</p> <p>○教材はケンブリッジ大学出版局から出ているものが主であり、ケンブリッジの作問している部門と出版部門は、同じケンブリッジ大学の中にはあるが、別組織となっている。</p> <p>○ブリティッシュ・カウンシルが独自に作成した試験実施規定の導入により安全性を担保。</p> <p>（対策例：試験監督者、採点者の管理／試験問題管理施設の厳格な規定／試験問題移動・開封・破棄に関する記録と管理／不正にかかわる世界的な調査プラットフォームの構築／組織内での定期的な監査と指導／利益誘導や漏えいに対する規定とトレーニング／国外での採点／受検者と採点者の直接的な接触禁止規定の順守 等）</p>	※イングランドの公式な政府の法定規制機関。特定の省庁に属さず議会に直接報告する。	

実施主体名	試験名	試験対策問題集作成の基本的な考え方		問題漏洩などの不正を疑われないような取組み	第三者評価	
		問題集に掲載する問題と実際に出題する問題との関係性	英語力が向上していないのに点数が取れるような対策となっていないか	漏洩対策（例）	評価機関	評価内容
Education al Testing Service	TOEFL iBT®テスト	○教材に使用している問題は、多くが過去問題であり、それが将来テスト問題として使用されることはない。	○テストは、付け焼刃の詰め込み学習や小手先のテクニックではスコアが取れない。 ○テストの妥当性、受検者の英語力を正しく図れるテストであることに関して、多くの研究レポートを発表している。	○あらゆる情報保護のフレームワークや情報保護ポリシーは、国際基準ISO27000をベースとしており、すべての物的情報資産および電子情報資産の機密性、プライバシー、完全性や可用性を保持している。 ○ETSに所属する者は、毎年団体情報保護ポリシーにサインをし、情報保護に関する研修を受けなければならない。	ANSI-ASQ National Accreditation Board (ASQ: American Society for Quality) (ANSI: American National Standards Institute) International Accreditation Forum	ETSでは、ANSI-ASQ National Accreditation Boardによってテストのクオリティーや実施などにおいて監査・認証を受けていることに加え、ETS作成プロダクトとサービスの品質・公平性の保持のために、内部監査システムも構築しています。ETSでは American Educational Research Association, American Psychological Association, National Council on Measurement in Educationの3団体が作成/出版したThe Standards for Educational and Psychological Testingに準拠した（ETSのニーズに応じて新項目を追加、あるいは削除し）ETS Standards for Quality and Fairness を作成し、このETS Standardsに沿った形で内部で監査チーム（ETSスタッフや外部の人間で構成）を組織し、ETSの各プログラムに対して監査をおこなっています。（通常3年に1度）。監査の結果は、ETS Board or Trustees（評議会）は報告されます。また外部の人間が監査役となり、試験に関する見解や一般的な観点を提供しています。 ※ETS Standard for Quality and Fairness https://www.ets.org/s/about/pdf/standards.pdf ※ETS Board of Trustees（評議会）16名の外部メンバーで構成されており、彼らは教育およびビジネス分野のさまざまなレベルまたは専門分野に携わっています。 評議会では特に、ETS 代表の選出、ETS 役員が提供するリーダーシップの監視、方針の設定、組織全体の今後の方向性の決定を行います。ETS はこの評議会により管理されています。
一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC® Listening & Reading Testおよび TOEIC® Speaking & Writing Tests	○試験問題は本試験に出題されたものとは全く別のものとなっている。	○問題集の内容は、テストの出題形式や内容に予め触れ、慣れておくことにより、本番でも受験者が自身の能力を十分に発揮できるようにすることに主眼がおかれたものとなっており、スコアアップを目指した対策本ではない。	○ETSにおいては、本番の試験で使用される問題と公式ガイドに使用される問題の管理は厳密に行われており、本番の試験で使用される問題が他の用途で使われることがないよう徹底されている。 ○IIBCでは、ETSより公式問題集用に提供された内容に対して日本語の説明文を加えたものを日本語版として販売しているが、ETSから提供された問題を使用したもののみとなっている。 ○問題集の作成にあたっては、出題形式や難易度といったものは本試験で出題されるものと同等のクオリティーを保つため、本番の試験で使われる問題を作成しているスタッフが本番の試験作成時と同じ手順で行うというプロセスを採っている。問題作成者は作成した問題がどのようにどのような形で使われるかわからないよう、内部でマネジメントする者が別途配置されている。		
株式会社ベネッセコーポレーション	GTEC	○問題集は、公開している出題傾向や過去に出題された問題に基づき作成している。	○問題形式の理解、技能ごとの受検上の特徴、またテスト内容の把握が目的となっており、英語力が向上していないにも関わらず、当ガイドブックを学習するだけで点数が取れるような対策にはなっていない。	【試験対策問題集における問題漏洩など不正防止策について】 ○試験問題を作る組織と問題集を作る組織は、完全に分離されている状態。検定で出題される問題が、問題集などを通して事前に公開されることはありません。 ○試験問題を作る担当者と問題集を作る担当者は同一でない。 ○試験問題のデータベースには、試験問題を作る担当者のみがアクセスすることができ、それ以外の者のアクセスは遮断されている。	○なし	—
公益財団法人日本英語検定協会	TEAP、TEAP CBT、英検	○公式の試験対策問題集を作成していない。	—	○公式の試験対策問題集を作成していない。 ○規定（非公開）に則り、実施運営を行っており、これまで50数年間の歴史の中で、取り立てて指摘すべき本事項における事象はなく、弊会としては、厳正な実施運営を行っているものと判断する。	○なし	—